

自然環境・安全

母なる清流球磨川が輝く
自然安全都市ひとよし



「わたしの夢」山本 昂成

(1) 消防・防災体制の充実

現状と課題

消防・防災の設備・機器については、老朽化等に対して随時整備を行っておりますが、今後も計画的な整備が必要となっています。また、消防・防災無線についてもアナログからデジタルへの移行が求められています。

消防団については、地域防災のリーダーとしての役割が増しており、体制の再整備が必要となっています。

また、災害に強いまちを目指すためには、施設整備等のハード面だけでなく、自助・共助・公助のあり方を市民みんなで考える防災研修や防災訓練を実施する等、ソフト面の充実が鍵になりますので、防災に関する意識を高めるための取組をととして、各町内の自主防災組織の整備・強化を図る必要があります。

・自主防災組織…「自分たちのまちは自分で守る」という地域住民の連携に基づき、結成される防災組織

施策の目的

市民の生命、身体、財産を災害から守ることは行政の最も基本的な使命です。災害に強いまちをつくるためには、防災基盤の整備に加え、防災体制の強化・充実を図る必要があります。万が一、災害が発生した場合でも、防災訓練の実施や住民の避難体制の整備・強化等、災害に対する備えが整っていれば、被害を最小限に抑えることができます。そのためには官民一体となった取組が必要です。

また、自助・共助・公助を基本として、市民・事業所・行政及び防災関係機関が、それぞれの役割と責任のもとに相互に連携・協働して防災対策を着実に行うことによって、災害に強い、市民が安心して生活できる安全な地域社会の実現を目指します。

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
消防小型ポンプ更新	21台	24台(更新完了)
耐震性防火水槽設置	年3基	年3基
防災実動訓練実施	年1回(住民参加型)	年1回(住民参加型)
防災行政無線整備	基本設計実施	同報系・移動系無線整備完了
地域防災計画書の改訂	改訂実施	改訂実施

- ・防災行政無線…災害時に、行政が住民に情報を提供するための無線システム
- ・同報系防災行政無線…災害に関する情報などを、住民に対して無線放送で一斉に提供するシステム
- ・移動系防災行政無線…他の通信手段が途絶した場合に、防災担当者間の情報伝達手段を確保する目的で設置されるシステム

主要な事務事業

事業概要

●防災基盤整備事業	消防小型ポンプ更新及び防火水槽設置工事を行う事業
●防災実動訓練事業	住民参加型総合防災訓練を計画・実施する事業
●防災行政無線整備事業	同報系・移動系デジタル防災行政無線を整備する事業
●地域防災計画書改訂事業	地域防災計画書の修正・見直しを行う事業
●市庁舎建設検討事業	市民サービスの基本となる中心的な行政拠点であり、親しみやすく利用しやすい施設として、また、災害時における防災拠点として市民の安全が図られる新市庁舎の建設を検討するための事業



■消防団の防災訓練

(2)交通安全・防犯体制の充実

現状と課題

本市では、関係機関や団体と連携し、防犯・地域安全活動を展開しています。しかし、ライフスタイルの変化、多様化、コミュニティ意識の希薄化等により、地域の犯罪防止機能の低下が懸念されていることから、地域が一体となった防犯活動の促進や犯罪が発生しにくい環境の整備が必要となっています。犯罪を未然に防止するためには、切り札というものはなく、地域が一体となった地道で継続的な防犯活動が何よりも重要です。

また、パトロールをはじめとするソフト面の防犯活動とともに、防犯活動の担い手の負担を軽減するために実際の環境面を良くするハード面の整備・改善を併せて行うことが必要となっています。

さらに、交通事故を未然に防ぐため、安全な道路環境づくりや交通安全意識の高揚に努めているものの、高齢者が事故に巻き込まれるなど交通事故件数は大きく減少していない状況にあることから、交通安全対策全般にわたる一層の強化が必要となっています。

施策の目的

地域の安全のためには、市民一人ひとりの自衛策はもちろん、事故や犯罪の発生しにくい環境の整備が必要となります。そのためには、道路・公園等の整備や交通安全施設の整備、防犯灯の設置などハード面の整備に加え、地域が一体となって推進する防犯活動や交通安全対策などソフト面の充実を図ることが重要です。

また、高齢化社会、車社会が進む中で、ライフステージに応じた段階的な交通安全教育と啓発を行う必要があります。交通事故のない安全な社会の実現に向けて、学校で、家庭で、社会で交通安全について今一度深く考え、互いに連携しながら取り組んでいくこととします。そのためにも、町内会や地域団体との連携を強め、近年弱まっているといわれる地域の絆、地域コミュニティの強化を図っていきます。

母なる清流球磨川が輝く自然安全都市ひとよし

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
交通事故件数	147件	90件以下
交通事故による死者数	3人	0人
防犯灯設置数	年11基	年20基

主要な事務事業

事業概要

●交通安全教室事業	幼児・小学生・高齢者等を対象とした交通安全教室を開催する事業
●防犯灯整備事業	町内の要望に基づいて行う防犯灯の設置事業
●こども王国保安官事業	老人クラブ等の協力を得、子どもを衆目監視できる体制をつくる事業



■こども王国保安官による子どもの見守り

(3) 安全・安心な消費生活の実現

現状と課題

商品の販売形態や契約方法の多様化等を背景に、悪徳商法の被害が増加する傾向にあることから、消費者への情報提供や啓発等の消費者対策を進めるとともに、消費者自らが悪徳商法等を見抜く目を養うことが必要となっています。

施策の目的

消費者への確かな情報提供と相談体制の充実等により、安心して消費生活を送れるまちを目指します。



■人吉市 消費生活センター

母なる清流球磨川が輝く自然安全都市ひとよし

成果指標

成果指標	現在値	目標値（H27年度）
消費生活相談件数の増加	344 件	20%増加
消費生活に関する出前講座回数	18 件	50 件
無料法律相談の開催回数	24 回	24 回（毎月 2 回開催）
人吉球磨巡回相談会の開催回数	10 回	12 回（毎月 1 回開催）

主要な事務事業	事業概要
●地方消費者行政活性化事業	県の補助を受けて、消費者相談窓口を開設し、相談員を養成する等の事業
●消費者教育・啓発活性化事業	出前講座等によって、消費者教育・啓発を行う事業
●専門家による無料法律相談事業	弁護士による無料法律相談事業
●人吉球磨生活支援ネットワーク事業	市民がいつでもどこでも相談ができるような広域による相談事業

・出前講座…自治体の職員が地域に出向いて、その取組や暮らしに役立つ情報などを説明するもの

(4) 環境保全・自然との共生

現状と課題

市民の環境に関する意識、特に清流球磨川に代表される豊かな自然環境に対する関心は、とても高いものがあります。しかし、この豊かな自然もひとたび環境汚染・公害・災害に見舞われると、その回復には多くの時間と労力が必要とされます。それらを未然に防ぎ、被害を最小限にし、その豊かな自然を有効に利用するためにも、日頃からの環境の監視・保全が大切です。

環境基準の維持、達成を図るため、各種対策を推進するとともに、日常生活、事業活動に伴う環境汚染の未然防止に努める必要があります。そのためには、国・県等関係機関との連携、衛生員連合会や企業の支援・協力も求めるとともに、身近な生活環境を市民自らが守る自助、共助を求めていくことも必要です。

施策の目的

地球規模の環境問題が毎日のように新聞報道やＴＶニュースで取り上げられる現在、私たちの日常生活が環境へ与える影響を意識することも多くなってきています。そこで、市民が生活の中からできることを日々実践し、本市の宝である球磨川をはじめとした豊かな自然環境を次世代に引き継いでいけるように、環境教育や啓発活動を推進していきます。

また、豊かな自然環境を守っていくとともに、市民が快適で安全に暮らせるまちをつくるため、自然の特徴を生かしつつ、環境への負荷が少ない自然災害に強いまちを目指します。

母なる清流球磨川が輝く自然安全都市ひとよし

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
環境美化行動	年2回実施	現状維持
そ族・昆虫駆除	各年1回実施	現状維持
河川水等水質調査	常時監視	現状維持
自動車交通騒音調査	年1回実施	現状維持
飲料水供給施設等整備補助	2件	申請数による

・そ族…病原菌を媒介するタイプの野生のネズミ類全般

主要な事務事業

事業概要

●生活環境保全事業	清掃活動や害虫防除など環境美化に関する事業
●公害対策事業	自動車騒音の測定や騒音・悪臭等の苦情を処理する事業
●河川及び地下水質保全事業	河川や地下水質の定期的な測定・監視、水質事故の処理等に関する事業
●治山・治水対策事業	国、県、流域市町村による「ダムによらない治水を検討する場」とおして、球磨川水系の新たな治水・防水対策等の推進を図るための事業
●飲料水供給施設等整備支援事業	簡易水道組合等の施設整備に対し、補助金を交付する事業

・ダムによらない治水を検討する場…球磨川の治水対策として、ダムによらない治水対策を検討する会議の名称



■球磨川での鮎釣りや球磨川下り

(5) 資源循環型社会の形成

現状と課題

我が国では、循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法、地球温暖化対策の推進に関する法律等が制定され、ごみ排出の抑制、資源の再利用、温室効果ガスの削減、再生可能エネルギーの活用等の循環型社会・持続可能な社会の形成が目指されています。

本市ではこれまで、ごみの分別排出の徹底やリサイクルの促進、不法投棄対策に努め、ごみの減量化・再資源化を進めてきました。市民のごみ減量・分別・資源回収への意識・関心は高いものの、今だ収集される可燃ごみ・不燃ごみへの資源物の混入は多い状況にあります。ごみの減量化・再資源化は、ごみ処理経費の削減、処理施設への負担軽減や施設の延命化につながることも十分認識し、今後も一層の減量化・再資源化への取組を強化しなければなりません。

また、地球温暖化対策について、平成 18 年度から平成 22 年度の第 2 次実行計画の検証を踏まえ、第 3 次計画を策定し、引き続き温室効果ガスの削減を進めることによって、さらに再生可能エネルギーの活用・導入(住宅用太陽光発電システム設置に関する支援策等)を検討します。

これらの取組をととして、省資源・省エネルギー・省電力を促進し、持続可能な社会の形成を目指す必要があります。

・**温室効果ガス**…太陽からの熱が地表から輻射される際、地球の外に放出されるのを防ぐガス。この温室効果ガスによって再輻射され、地球が暖められ温暖化の引き金となる

施策の目的

ごみの 3R(リユース(再使用)、リデュース(発生抑制)、リサイクル(再生使用))等の推進によるごみの減量化、地球温暖化対策実行計画による温室効果ガスの削減、再生可能エネルギーの活用による省資源・省エネルギーの促進等、環境に配慮したまちを目指します。

母なる清流球磨川が輝く自然安全都市ひとよし

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
廃棄物総排出量	13,099 トン	11,500 トン
ごみ分別体験学習会の開催	16 件(約 300 人)	25 件(約 500 人)
生ごみ処理機等購入補助	20 件	30 件
地球温暖化対策実行計画	第 2 次計画終了・検証	第 3 次計画実施
住宅用太陽光発電システム設備費補助	検討	補助金交付

主要な事務事業

事業概要

●塵芥(ごみ)処理事業	ごみ処理計画の策定、ごみ収集、処分場の維持管理費負担に関する事業
●ごみ減量リサイクル事業(ごみ減量大作戦事業)	分別・リサイクル、生ごみ処理対策など、ごみの減量化・資源化を推進する事業
●地球温暖化対策実行計画事業	市の事務事業に伴って排出される温室効果ガスの削減に関する計画を策定し、実行する事業
●住宅用太陽光発電システム設置費補助事業	住宅用太陽光発電システムを設置する世帯に補助金を交付する事業



■人吉球磨クリーンプラザ

(6) 上水道の整備

現状と課題

近年の人口減少・少子高齢化・節水型社会等への移行に伴う水道使用量の減少等に起因し、今後も給水収益が減少すると見込まれます。

また、給水開始以来54年を経過し、老朽化した水道施設の更新、渇水や災害時に強い給水体制を構築するために多額の施設整備費が必要となります。

そうした状況の中、多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、市民への上水道事業に対する理解を深め、さらに効率的・安定的な経営の持続が課題となります。

施策の目的

上水道は市民生活において欠くことのできない大切なライフラインであり、常に安全で良質な水道水の安定供給が求められています。

「市民が安心して飲める水道」、「いつでも安定して供給できる水道」、「環境に優しい水道」等の目標達成のため、上水道施設の老朽化対策や耐震化、上水道管理体制の強化など計画的な施設の整備と維持管理に努めます。

・ライフライン…生活に不可欠な水道・電気・ガス・通信等のこと

母なる清流球磨川が輝く自然安全都市ひとよし

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
基幹管路の耐震化適合率	8.5%	13.8%
有収率	84.6%	86.1%

・基幹管路…水道管のこと

・有収率…給水する水量と、料金として収入のあった水量との比率。高い数値が望ましい

主要な事務事業	事業概要
●上水道施設(水源地、配水池等)整備更新事業	老朽化した水源地及び配水池の施設を整備する事業
●上水道送配水管耐震化事業	水道管(送水管・配水管)を地震に強い管に布設替えする事業
●上水道老朽管路更新事業	老朽化した水道管を更新していく事業



■茂賀野水源

(7) 下水道の整備

現状と課題

衛生的で快適な市民生活を送る上で、公共下水道等の生活排水処理施設は重要な役割を担っています。

現在、本市では、汚水処理人口普及率が83.6%、うち水洗化率が90.6%となっており、公共下水道による市街地の整備はほぼ充足しています。

今後は、投資効果を見据えて地域性を勘案した処理施設を選択することにより、効率的かつ計画的に施設の整備を進め、引き続き普及促進を図っていく必要があります。

また公共下水道施設においては供用開始から30年を経過し、施設の老朽化対策や耐震化が課題となっています。

- ・生活排水処理施設…本市においては、公共下水道若しくは浄化槽(単独処理を除く)施設のこと
- ・汚水処理人口普及率…生活排水処理施設の利用が可能となった人口の割合
- ・水洗化率…生活排水処理施設の利用が可能となった人口のうち、実際に施設を利用している人口の割合

施策の目的

快適な生活環境の確保と環境負荷の低減を図るため、生活排水処理施設の普及促進に努めるとともに、終末処理場等の公共下水道施設の老朽化対策や耐震化、浸水対策等を計画的に進めます。

さらに公共下水道事業に企業会計方式を導入し、公正で正確な事業評価とそれに基づく確かな経営判断による経営の健全化を図ります。



■マンホールの蓋

成果指標

成果指標	現在値	目標値(H27年度)
生活排水処理施設普及率	83.6%	85.0%
生活排水処理施設水洗化率	90.6%	92.0%
公共下水道施設事故発生件数	0件	0件

主要な事務事業	事業概要
●生活排水処理施設普及促進事業	公共下水道や浄化槽(単独処理を除く)の普及を促進するための事業
●公共下水道施設改築更新事業	終末処理場「人吉浄水苑」、雨水・汚水中継ポンプ場、汚水管きょなど公共下水道施設の老朽化した機械・電気機器を取り替えていく事業
●公共下水道事業の企業会計導入事業	公共下水道事業特別会計を官庁主義会計(単式簿記)から公営企業会計(複式簿記)に移行する事業



■マンホールまわり補修工事(下水道の日)

「私と思う、十年後の人吉」

須恵 優華

私は、十年後の人吉は、緑豊かで観光客がたくさん来る町になると思います。

理由は、夏に行われる「花火大会」や「人吉・球磨は、ひなまつり」「新幹線の開業・開通」などで少し有名になっているからです。

特に、「新幹線開業・開通」は、遠いところからも、短い時間で来られるし、便利なので、人吉に人がたくさん来ると思います。

「人吉・球磨は、ひなまつり」は、今現在もたくさんの方が来られています、来場者が増えると思います。

「花火大会」も、テレビで取り上げられるほど規模が大きいので、ひなまつりと同様、宣伝すれば、人が増えると思います。

十年後は、私たち、若者の時代です。今から木をたくさん植えれば、緑豊かになります。

今、私たちの学校では、月に一度、「クリーン活動」という取り組みをしています。内容はゴミを拾うことですが、環境をよくする活動なので、大人になって、これを発展させてよりよい町にしていきたいと思います。